

## プログラム

---

14:00 開会挨拶

14:05～14:35

基調講演:

「国際調査から学ぶ: オーストラリアの研究者が見た PISA、TIMSS、PIRLS」

Sue Thomson, Head of Educational Monitoring and Research

Research Director, National Surveys Program, ACER, Australia

14:40～15:05

講演 1: 韓国

「PISA2009 における韓国生徒の学力到達度が意味すること」

Ki Jong Rhee, Professor, KookMin University, Korea

15:10～15:35

講演 2: フィンランド

「学びをめぐる変化は PISA の結果に影響を与えるのか」

渡邊あや, 熊本大学 大学教育機能開発総合研究センター 准教授

————— 休憩(15 分間) —————

15:50～16:15

講演 3: ドイツ

「ショック療法の功罪」

近藤孝弘, 名古屋大学大学院 教育発達科学研究科 教授

16:20～16:45

講演 4: 日本

「PISA で教育の何が変わったか」

松下佳代, 京都大学 高等教育研究開発推進センター 教授

————— 休憩(15 分間) —————

17:00～17:55

パネルディスカッション

ファシリテーター: 澤野由紀子, 聖心女子大学 文学部 教授

ゲストパネリスト: 平林正吉, 文部科学省 初等中等教育局 教育課程課長

17:55 閉会挨拶

---

司会 : 星千枝, NPO 法人教育テスト研究センター(CRET) 研究員

終了後 懇親会